

第50回沼津市芸術祭「写真展」の開催及び 審査結果をお知らせします

要 旨

芸術祭「写真展」受賞者発表

第50回沼津市芸術祭「写真展」部門において、10月5日(木)に審査を行った結果、別紙のとおり各賞が決定しましたので、審査結果をお知らせします。

また、受賞作品を含む展示を下記のとおり行います。

概 要

●第50回沼津市芸術祭「写真展」の概要

開催期間:令和5年10月6日(金)~10月10日(火)

10:00~17:00(最終日は16:00まで)※入場無料

場 所:沼津市民文化センター 展示室

出品作品数:92点(招待作品も含む)



●第50回沼津市芸術祭「写真展」を含む展示部門及び文芸部門の受賞者には、下記のとおり表彰式を行います。

表彰式:令和5年11月19日(日) 14:00(13:00 受付開始)

会 場:プラサヴェルデ コンベンションホールB

お問い合わせ先

沼津市教育委員会事務局 文化振興課 文化政策室
直通:055-934-4812

第50回沼津市芸術祭 写真展審査結果報告

◇ 写真展

| | 作品点数 |
|--------|------|
| 審査員作品 | 1点 |
| 招待作品 | 2点 |
| 無鑑査作品 | 7点 |
| 一般公募作品 | 82点 |
| 合計 | 92点 |

◇ 審査日 令和5年10月5日(木)

◇ 審査員 中村 勝利

(全日本写真連盟 関東本部委員・静岡県本部常任顧問)

芸術祭賞1点、市長賞1点、市議会議長賞1点、教育長賞1点、市制100周年記念賞1点、奨励賞8点

| 賞 | 題名 | 氏名 | 住所 |
|------------|-------------|-------|----------|
| 芸術祭賞 | 炎に挑む | 朝香 祥子 | 沼津市岡宮 |
| 市長賞 | 伝統の重みは50kg | 杉澤 寿春 | 沼津市豊町 |
| 市議会議長賞 | 寒い朝 | 高村 昌貢 | 沼津市松下町 |
| 教育長賞 | 晩秋に憩う | 細川 純也 | 裾野市茶畑 |
| 市制100周年記念賞 | まだ見ぬ先へ | 山田 一騎 | 駿東郡清水町長沢 |
| 奨励賞 | キラリ輝く | 内田 昇一 | 沼津市豊町 |
| 奨励賞 | なんだよ! | 笠井 由以 | 沼津市高尾台 |
| 奨励賞 | 夕日に映える | 日下部 茂 | 沼津市原 |
| 奨励賞 | お魚ワールド | 杉本 由季 | 沼津市三園町 |
| 奨励賞 | 川霧に包まれて | 竹内 桂子 | 沼津市大平 |
| 奨励賞 | 梅雨の晴天 | 中西 文枝 | 沼津市蛇松町 |
| 奨励賞 | 八戸の海に見える展望台 | 西川 篤司 | 三島市大場 |
| 奨励賞 | 働くおじさん | 松村 賢司 | 駿東郡清水町堂庭 |

第50回沼津市芸術祭「写真展」 審査短評

芸術祭賞 『炎に挑む』

燃え盛る炎に2人の男が熱い中を挑んでいる。燃えさかる炎の迫力と、火の粉をかぶりながらの男達をうまく捉えている。

市長賞 『伝統の重みは50kg』

秋田の「竿燈(かんとう)まつり」を撮している。笠のしなりの中、重さに耐えながら演舞する男達の行列をバランス良く捉えている。

市議会議長賞 『寒い朝』

ヶ嵐の中、釣舟の2人だけの世界を捉えている。水墨画の様な雰囲気醸し出している。

教育長賞 『晩秋に憩う』

イチョウの紅葉の中で、老夫婦が語り合っている午後の時間が静かに流れ、やわらかな光が2人をやさしく包んでいる。

教育長賞 『まだ見ぬ先へ』

新東名の橋脚を下から撮っている。突き進む先へ足を踏ん張って力強くかけ出して行く様な強さを感じさせる。未来志向の秀作である。

奨励賞

『梅雨の晴間』

布団を敷き詰めた建物が写っている。おや！なんだろうと誰しも目を止めるだろう。珍しいものを見つけたものだ。

『なんだよ！』

黒猫を撮った写真であるが、何か訴えかけるような目に引き付けられる。バックを白くして浮き立たせたのが成功している。

『キラリ輝く』

新幹線の尾の部分を一瞬的に捉えたものである。パッと見たところマグロの頭かと思った。面白い写真である。

『お魚ワールド』

夢の様な魚の映像が廻る中、子供が魚を追うごとく存在している。うまいタイミングで後に行く人と共に捉えている。

『働くおじさん』

絵のおじさんと本物の子供が手をたずさえている。なかなか良いアイデアでユーモラスさを出している。

『夕日に映える』

富士の夕日をうまく捉えた。山頂だけをアップにして赤富士に仕立てていてとても良い。

『八戸の海に見える展望台』

ローマの遺跡を思わせる建造物が展望台とは!? 観光客の並び、海、空、構図が整っている。

『川霧に包まれて』

静かな川の流れの中、しかも霧の中で日本画を思わせるような釣舟、人を捉えている。

総 評

出展数の多さに出会い、いずれも大作で賞の甲乙付け難い力作揃いで審査に苦労しました。なお一層の素晴らしい作品を期待します。

審査員 全日本写真連盟 関東本部委員・静岡県本部常任顧問 中村 勝利